

# 令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年5月 1 日

学校法人 大野学園

鈴ヶ森めばえ幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ☆たくましいぬくもりのある人
- ☆自分のことは自分で率先してできる人
- ☆最後まで一生懸命、物事に取り組める人
- ☆感謝の気持ちを持てる人

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領の改訂を踏まえ、一人ひとりの幼児を大切にしたい質の高い教育の実践を目指す。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育課程を見直し改善を図る	A	幼児の姿や遊び、活動の様子等について教員間で話し合い、教育に繋げている。また伝統行事を大切に行う事で日本の伝統や文化に親しみ、感性や思いやりの心を育てるようにした。また食育の一環としてじゃがいも、さつまいも、ゴーヤ、大根等の野菜の栽培を行い、収穫をし、試食を通して作物への感謝の気持ちを養った。
2	教育の質向上のために、外部講師による教員への研修を充実させる	A	月に2回、幼児教育研究会の講師による教員研修を行う。読み・書き・体操を学年に応じた指導や子ども達への声掛けの仕方を学ぶ。
3	特別支援教育のための園内支援体制を整備する	B	臨床心理士の方と教員間で情報を共有するようにし、一人ひとりについて方針を決めて対応した。特別支援児への対応は関係機関や家庭と連携し、より細やかに教員間の情報の共有が必要である。
4	「教育環境」 朝の園庭清掃の時間に、園庭の環境設定を行い、登園してきた園児が順次、園庭で朝マラソンや園庭遊びを安全に行えるようにする	A	子ども一人ひとりが走る事を楽しみ、自信が持てるよう様々な展開を実践した。教員間で情報を共有し、子ども達の成長に繋がるよう対応した。

評価 (A・十分に成果があった B・成果があった C・少し成果があった D・成果がなかった)

#### 4.総合的な評価結果

評価	理由
B	園行事や日常の教育内容はほぼ保育の計画通りに行うことができ、日本の伝統行事や文化に親しむことができた。食育に関しては野菜の栽培をし、試食をすることができた。また朝マラソンの日々の積み重ねにより、しながわ区民公園での年長児の2キロマラソンも実施することができた。 特別支援児への対応は関係機関、家庭と連携し、より細やかに教員間の情報の共有が大切である。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

#### 5.今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育環境	保育室内の環境（遊具など）について話し合い、遊びが充実するように幼児の年齢に応じた室内環境や遊具の在り方を整えることに取り組む。
2	安全管理	大きな地震や事故が起こっている今日、子ども達の命を守ることの大切さを勘案して、危機管理マニュアルを読み込むなどの研修を行い、教員間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る。また品川区のハザードマップなどを参考にしてその他の災害への備えも十分に行う。
3	特別支援	幼児一人ひとりの個性をとらえ、保護者や関係機関との連携を図り、その子の「できる」を増やしていきたい。また、その子の受け止めやすい「言葉かけ」を教員間で共有しながら園全体で取り組むようにする。

#### 6.学校関係者評価委員会の評価

- ・いつも明るくオープンな雰囲気なので安心して預けられる。年間を通して色々な経験ができることも子どもの成長に繋がっていると思う。今後も一人ひとりの子どもに目を向け、保護者の声を生かしながら、よりよい教育へとつなげていってほしい。
- ・食育の一環としてじゃがいもや大根の成長を観察し、収穫を行い、試食をすることで子どもが食べられなかった野菜を食べるようになり、食への感謝が育まれたと思う。今後とも続けて頂きたい。
- ・保護者アンケートの結果から、幼稚園に行くのを楽しみにしているや、体力面と学習面の双方に配慮したバランスの取れた教育を提供してくださっているなど、園の保育への取り組みに対して肯定的な評価が多かった。